



群通信班訓練検閲

平成十八年二月二十七日から二月二十八日までの間、北海道大演習場において、「防衛支援に任ずる群通信班の行動」について訓練検閲が行われた。

副通信班長 豊蔵曹

本部管理中隊 通信班 一等陸士 山下 彩
平成十八年二月二十七日、二十八日に行われた「群通信班検閲」に、私は有線通信手として参加しました。もちろん、「検閲」に参加するのは初めてでした。当然「検閲」というものが理解できていませんでした。



最初に「隊容検査」が行われ、本番に向けての準備が、着々と進められて行く中で、私はただ周りに言われるまま、ついて行く事しか出来ず、少し悔しい思いをしました。そして、「検閲」状況について少しでも多く理解しようと、私の状況下での任務、敵の行動予測、それに対する私の行動・作戦などについて、勉強しました。中継・先行・主力とそれぞれの組分けがなされ、私は先行組として目的地へと前進していき

断線・通信所付近の警戒など状況は次々と入って来るため、慌ただしく空気が張り詰めていました。その中で、私が出る事は少なく、手を付ける事も出来ない為、あまり役には立っていないような気がしました。でも、訓練などで練度を上げ、その実力が「検閲」で評価されるという事も知り、「検閲」がどれだけ重要で、重大なものが、理解出来た様な気がします。次回、通信班での「検閲」が行われる時には、私自身、もっと練度を上げ挑みたいと、強く感じました。

いわみざわ



発行所 隊友会 岩見沢支部
岩見沢市西川町319-25
編集 陸上自衛隊
岩見沢駐屯地
印刷 北海道立福祉村
会知郡栗沢町最上350
TEL(0120)45-2721



平成十八年度
岩見沢駐屯地司令方針
第十二施設群長兼岩見沢駐屯地司令
一等陸佐 池田安一郎

長く厳しい冬も終わり、日の出台にもようやく春の息吹を感じる頃になりました。また駐屯地所在の各部隊もそれぞれ新たなスタートを切りました。

駐屯地隊員諸官は、次の文を読み、一人一人が自分の職務の重要性を認識し、また部隊としてその技術・能力を錬磨・向上してもらいたい。
『力をつくして

どんな仕事でも、一生懸命、根限りに努力した時には、何となく自分で自分をいたわりたいような気持ちが起こってくる。自分で自分の頭をなでたいような気持ちになる。「今日一日日本当によく働いた、良く努めた」そう思う時には、疲れていながらも食事もおいしくいただけるし、気分も和らぐ。

ほっとしたような、思い返しても何となく満足したような、そして最後には「人事を尽くして天命を待つ」というような心の安らぎさえおぼえるものである。

力及ばずという面は多々あるにしても、及ばずながらも力を尽くしたという事は、お互いにやはり慰めであり、喜びであり、そしていたわりでもあろう。この気持ちは何ものにも変えられない。金銭にも換えられない。金銭に換えられると思う人は、本当の仕事の喜びというものがわからない人である。仕事の喜びを味わえない人である。喜びを味わえない人は不幸といえよう。

事の成否は大事だけれど、その成否を越えて尚大事なことは、力を尽くすという自らの心の内にあるのである。松下幸之助

また、隊友会をはじめとする諸先輩の方々、関係協力団体・機関の皆様のご指導・ご鞭撻をどうかよろしくお願いいたします。

業務隊長 佐藤二佐 着任



業務隊長 佐藤 昌巳
陸自 2等 佐藤 昌巳

この度、岩見沢駐屯地業務隊長に着任いたしました佐藤二佐であります。
江別に居を構え、「慎独」と改革の継続を合い言葉に業務を開始いたしました。よろしくお願いたします。

出身 北海道二七〇町
防衛大学 第十九期

新着任者の抱負



副隊長 熊谷 裕文
陸自 2等 熊谷 裕文

副隊長を拝命した熊谷二佐です。

昭和六十三年より平成十年までの約十年間、第十二施設群で勤務させていただきました。三代の血気盛んな時期、皆とぶつ倒れるまで訓練をした、あの思い出の第十二施設群でもう一度勤務できると思ってもみませんでした。私も今年四十八歳、陸幕、総監部勤務で火の消えかけた情熱と眠っている部隊感覚を呼び覚まし、十数年前のように大暴れしたいと思っています。精強第十二施設群の諸官、どうぞよろしく！



隊長 高市 覚
陸自 1等 高市 覚

この度、第三三五施設中隊長に着任いたしました高市一尉であります。諸先輩方が築かれた伝統を引き継げる事は、この上ない光榮な事でありませう。

私は「一丸」を中隊長要望事項とし、ワールドカップベースボールクラッシュで世界一に輝いた日本代表のごとく、中隊が一つとなつて任務達成に邁進していくと共に、明るく元気な中隊を築いていきたいと思ひます。皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願いたします。



激走する内城三曹



隊長 渡辺 裕之
陸自 2等 渡辺 裕之

この度、第十五代第三二二施設器材中隊長に着任した渡辺二尉であります。伝統ある施設器材中隊に中隊長として勤務できることを大変嬉しく感じるところに、責任の重さを実感しているところでもあります。

私は、中隊長要望事項を「清く、楽しく、かつこよく」としました。このような時代だからこそ「同を守る」という純粋な気持ちで、明るく勤務できる環境を整え、誰もがあげられる自衛官として勤務できたいと思ひます。
私は、二等陸尉と階級的には若く、皆様のご指導ご鞭撻を賜ることが多々あると思ひますが、臆することなく、積極的に、任務達成に邁進できればと思ひっております。

団冬季戦技競技会

平成十八年二月三日、南恵庭訓練場及び北海道大演習場恵庭地区において、「平成十七年度団冬季戦技競技会」が行われた。

気温零下十五度、粉雪の降る中、各中隊の選手は日頃練習したスキー技術を惜しみなく発揮し、激走していました。また本競技会には、各部隊から多くの隊員家族等が応援に駆けつけ、選手に対し熱い声援を送っていました。

第三三六施設中隊 三等陸曹 内城 満博

二月三日に行われた、団スキー戦技競技会で、我が第三三六施設中隊の成績は、団五位・十二施設内一位という好成绩で終えることが出来ました。

私は、十二月初頭から行われた名寄での転地訓練から練成に加わりましたが、教育や臨時勤務などでスキーからは遠ざかっていた為、練成初日から、技術の低さを痛感していました。二週間にわたる練成で、教官・助教に様々な御指導をいただきながらも、なかなか練度は上がらず、歯がゆい気持ちで名寄から戻る事になり、岩見沢・恵庭での練成が始まりました。

ようやく、そこそこのタイムが出だした頃、腰痛がひどくなり、なかなか練習に参加できなくなりました。その間にも、後輩達が力をつけている様で、焦りだけがつきまとっていたのを覚えています。そんな私に、先輩達は「スキーは技術だけではなく基礎体力も重要。だから、今は動かせる部分を鍛えて、それを活かせばいい」と助言をくれました。それを信じ、インターネットなどで筋力トレーニングなどを調べたり、サプリメントを始めたり、基礎体力の増加に努めました。何度か行ったタイムレースでは、参加する度にタイムが伸び、またタイムが伸びることで、精神的にもとても良い環境で練成することが出来ました。大会当日、極度の緊張感溢れる中レースが始まり、よだれを垂れ流し、かろうじて耳に届く声援を受け無我夢中でゴールしました。タイムをみると目標としていたタイムが出ていて練成の成果があったと、胸をなで下ろしていました。
来年度は、夏場の練成をしっかりとお実施し、基礎体力は勿論のこと、技術の向上に努めたいと思ひます。また、様々な経験を通過し、後輩に対して色々な助言を出来る陸曹を目指します。

札幌地方隊友会 「隊友の集い」

札幌地方隊友会恒例の「隊友の集い」が、二月十一日(土曜日)に雪祭りでにぎわう札幌ススキノキャバレー「エンペラー」で開催され岩見沢支部より風間氏、田中氏、池田氏、新井氏、小笠原氏が悪天候にもかかわらず参加されました。

各部隊長・各曹友会の現役の皆さん、衆議院議員三名、参議院議員二名、道議会議員、市議会議員等多くの方々の出席を得て総勢約三百名の「隊友の集い」になりました。

穴口札幌地方隊友会会長の主催者挨拶の後、西田郷友連道支部長の乾杯の音頭で「集い」に入り歌謡ショーを楽しみながら各支部と意見交換をしつつ懇親を深めることができ有意義な「集い」となりました。

隊友会広報班 記



穴田会長の挨拶



風間・池田・新井・田中の各氏



町村衆議院議員の挨拶

自衛隊退職者雇用協議会
岩見沢支部

事務局：岩見沢商工会議所内
支部長：五十嵐 関
TEL：0126-22-3445

NHKのど自慢 in 岩見沢

NHKのど自慢に参加して

隊友会 弘済企業 池田 哲夫

昨年の秋、岩見沢市で約三十五年ぶりになる「NHKのど自慢」が開催されました。これに、岩見沢駐屯地援護室長の宇山二尉の独断で出場応募をされてしまいました。最初は「どうせ無理だろう」と期待はしていませんでしたが、ある日、「予選会出場」の返事が来ました。「よし、決まった以上頑張ってみよう。自衛隊定年の記念にもなるし、もし全国放送にもされたら・・・」などと、すぐその気になった私は準備を始めました。

予選会の会場は、岩見沢市民会館。当日行ってびっくり、出場者はなんと二五〇組で、その中から二〇組だけ選ぶとの事・・・。

色々な格好の方々に圧倒され、かなり緊張してしまいました。私は、駐屯地のブルーのハッピにねじり鉢巻き姿で、手には、お得意の小皿をならし「チャンチキおけさ」を熱唱、会場には家族の応援、孫の「おじいちゃん頑張つてえー!」の声を聞きながら必死で唄いました。昼から夕方までかかった予選会ではありませんが、お客さんの手拍子に乗せられ気分よく唄えたので、微かに期待を持って結果発表。しかし残念ながら予選落ち。でも、それに参加できた事だけでもとても満足であったし、貴重な体験をさせていただいた事に、感謝いたします。

次は何に挑戦しようか・・・



熱唱する池田氏

お二人の挙立ちを、真心のおもてなしでご祝福いたします。

Do Wedding

IWAMIZAWA HEIANKAKU
TEL. (0126) 22-6501

EVENT HALL
駅東市民広場
イベントホール赤れんが

多彩な催しにご利用いただける施設です。
お気軽にお電話ください ☎ 0126-(22)-5871

岩見沢市有明町南1番地7
株式会社 振興いわみざわ
代表取締役 五十嵐 関

1日2日の短期入所から手厚く保護。
全方位の安心をお届けする医療保険。

医療大臣

すべての未来を預かります

フコク生命

プランナー 小川 恵子
富国生命保険相互会社 岩見沢営業所
岩見沢市2条西3丁目1-1
☎ 0126-(23)-1971

お客様のニーズに
お答えいたします。

夜の桜の下で乾杯を
よ

スナック **夜咲桜**

岩見沢市2条西2丁目
☎ 0126-(24)-3189

「還暦」を迎えられる隊友

今年還暦を迎えられる隊友は、終戦後の「団塊の世代」に一歩先駆けて還暦を迎える一九四六（昭和二十一年）年生まれの方々です。

傳 法 和 美 氏（四月 三日生）

鈴 木 勇 氏（五月 十四日生）

河 合 周 四 郎 氏（九月 一日生）

澤 田 哲 明 氏（十二月二十一日生）

皆さんのお生まれの昭和二十一年は、敗戦の辛さがひしひしと身にしみ誰でも食うのが精一杯、カネがあればあるはずのない物が闇市でいくらかでも買える奇妙な現象が起こった時代だったようです。物価とは上がりがあつても下がりが無いという時代が思い起こされることでしょう。

その頃の生活は、コロツケは三銭、カレーは三〇銭、牛乳は八銭、コーヒ―は五円、ラーメンは二〇円、ソバは十六銭、ビール七円、清酒一升四〇円、タバコ（ピース十本入り）十円、映画は三円、銭湯は五〇銭、白米一〇キロは三六円三五銭、封書が三十銭、葉書は十五銭、新聞（二ヶ月）五円、レコードは四銭、サラリーマンの初任給は四〇〇円でした。

「人生七掛けの時代」と言われ、年齢（六十歳）に七〇パーセントを乗じたのが実年齢と言うことで還暦なら実年齢はまだまだ若い四十二歳になります。

人生八十年まだまだ人生の一里塚です。くれぐれも健康には気を付けて、快適な人生を送ってください。

謹んで還暦のお祝いを申し上げますと共に、益々のご健勝、ご活躍をお祈りいたします。

隊友会広報班 記

「隊友の集い」盛大に開催

隊友会岩見沢支部恒例の平成十七年度「隊友の集い」が、三月十二日（日曜日）北村温泉ホテル（北村字赤川）で開催されました。今年度は、「やすらぎ温泉」と「北村温泉ホテル」が統合し、新たにリニューアルオープンした「北村温泉ホテル」で会員三十二名の皆さんの参加をいただき開催されました。

部屋に案内されるやすぐに入浴セットを持って遠赤外線効果により健康を増進すると言われていた岩盤浴、そして空知管内初となる足湯、沸かさず薄めず源泉一〇〇%の天然温泉等を楽しみむ皆さん、早々に麻雀の卓を囲む皆さん、囲碁・将棋で久しぶりの対戦を楽しみむ皆さん、それぞれに分かれて心と身体のリフレッシュされたようです。

十八時からは、宴会場に場所を移して一同会としての懇親会、黒田支部長挨拶のあと宴会に入り、久しぶりに会われる方々もおられ近況を語り合いながら旧交を深めていた。ビンゴゲームでは抽選玉を回す清水氏と読みあげる蔵本氏に待ち番号を強要する声がかかる中読み上げられる番号のため息をつく人、喜ぶ人など楽しい時間を過ごしました。楽しい時間もあつという間に過ぎて新会員のカラオケも飛び出したところでお開きの時間となり、最後に小笠原副支部長の音頭でしめくり散会となり、次回の再会を楽しみに送迎バスで温泉をあとにしました。

隊友会広報班 記

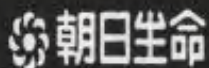


久しぶりの対局を楽しむ先輩後輩



読みあげられる番号に不満の声が飛ぶ

あなたと生きていく保険。 **保 険 王**



岩見沢営業所 電話 (0126)

22-0207番

CAR用品/部品販売・取り付け/交換 貴方の愛車をサポートします！ オートバンクシステムによる完全個別オークション！！ 全国から高品質の、貴方だけの中古車をお探します。 スタッフ一同、ご来店お待ち申し上げております。 中古車&CAR用品専門店 **AUTO ARTECH** オート アーテック 岩見沢市大和2条3丁目50 統括責任者 花崎 博之 電話 0126-(20)-2777



自衛隊員の方優遇！料金2500円！！ 〒068-0851 岩見沢市大和1条7丁目3-46

渡邊 正 吾 電話 0126-(25)-0666



緊張気味の入隊予定者

入隊予定者
激励会

岩見沢市（前栗沢町・前北村含む）、三笠市で構成される、本年度自衛隊入隊予定者激励会（札幌地方連絡部岩見沢募集事務所管轄四市町村自衛隊入隊予定者激励会実行委員会）一月発足）が二日、ホテルサンプラザで開かれました。

同委員長の渡辺孝一岩見沢市長が「これから飛び込む世界は想像を絶する世界かもしれないが、国民を代表して生命・財産を守ってほしい」、池田安一郎岩見沢駐屯地司令は「皆さんが選んだ自衛官という職を、誇りに思っ頑張ってほしい」と激励。これを受けて、入隊予定者代表の小澤逸さんが「私達の前途には、限らない夢と希望があり、少しでもそれに近づきたい」と答辞を述べた。

雪の中から男性救出!!岩見沢消防本部より感謝状



駐屯地 情報保全隊長 土見文昭一等陸尉は、一月二十七日夕、市内上幌向町の自宅軒下を除雪していた男性（六〇）が屋根からの落雪で埋まった瞬間を目撃。隣人の男性に声をかけ、一緒に救出した。土見一尉の速やかな救出作業に対し、二月八日岩見沢消防本部から感謝状を贈呈された。

方面「第四十三回北部方面隊美術展審査会」

北部方面隊では、一月十一日（水）及び一月十七日（火）に札幌駐屯地において、「第四十三回北部方面隊美術展審査会」を実施しました。

その中の陶芸の部において、駐屯地陶芸クラブ 荒井耕治陸曹長の作品「雪洞」が、特選に選ばれました。



陶芸の部 特選 「雪洞」

結婚しました



第三三六施設中隊
片倉 三
利 曹
幸 曹
明日香



第三三五施設中隊
田中 士
信 長
明 曹
奈津子



第三三五施設中隊
佐々木 三
隆 曹
行 曹
涼子

第三三五施設中隊



第三〇二坑道中隊
岸 三
曹
洋 曹
多恵



第三三七施設中隊
井上 三
曹
拓 曹
美加



第三三七施設中隊
團 三
曹
緑 曹
洋子



第三三六施設中隊
早川 三
曹
勇 曹
誠子

第三三六施設中隊

三井グリーンランド
ホテル サンプラザ
ご婚礼スーパーセレクト
プラン
「Only one」発表!
ご宿泊のお客様は遊園地入園無料!
三井グリーンランド
遊園地・ホワイトパーク

心をこめて、これからも
AIG
AIGエジソン生命
お気軽にご相談ください。
AIGエジソン生命保険株式会社
業務隊厚生科内
常駐社員: 田村純子(内線338)

H-8+
千葉電気工事株式会社
代表取締役 千葉 嘉男
岩見沢市東山町22番地71
電話(0126)24-4567番

Gibraltar
ジブラルタ生命
私たちはブルデンシャル・グループの一員です。
ブルデンシャルは、126年の歴史を持つ米国最大級の金融機関であり
世界の顧客に幅広い金融商品・サービスを提供しております。
ジブラルタ生命保険株式会社
札幌南支社 岩見沢支店
〒060-0024 岩見沢市4条西4丁目 グレイズ東ビル4F
TEL: (0126) 22-4875 FAX: (0126) 22-5734

転出

【群本部】

二佐 荳場 広一 北方総監部
一尉 有村 伸一 西方総監部

【本部管理中隊】

准尉 川堀 清隆 名寄 業
一曹 橋本 正弘 一〇五施器
二曹 澤原 智 三团付隊
三曹 山岸麻衣子 女自教育隊

【第三三五施設中隊】

一尉 岡本 彰博 北方総監部
二曹 石田 圭一 俱知安業

【第三三七施設中隊】

一曹 鈴木 寿仲 岩見沢業

【第三四二施設中隊】

一曹 小玉 幸一 五旅 团

【第三一二施設器材中隊】

一尉 菊地 力三 東北補給処
三曹 堺 泰一 富士学校

【第三〇二坑道中隊】

二曹 山上 竜一 十三施群

【第二直接支援中隊】

曹長 河野 哲也 直大整備中
一曹 藤丸 浩見 直大第三中
三曹 大西 剛貴 特大第二中

【駐屯地業務隊】

二佐 佐藤 貞夫 北方総監部
一尉 石崎 靖 十一飛行隊
一曹 風間 章 自札幌病院
二曹 小沼 清隆 施設学校
三曹 加藤 寛 十一普連

転入

【群本部】

二佐 熊谷 裕文 北方総監部
一尉 大崎 聡史 幹候生学校

【本部管理中隊】

一曹 橋 嘉彦 釧路 業
二曹 伊藤 哲也 三〇三夕中
【第三三五施設中隊】
一尉 高市 覚 三团本部

【第三三六施設中隊】

三曹 北村 和広 一〇五施器

【第三一二施設器材中隊】

二曹 泉澤 雄心 三团付隊
二曹 山本 真悟 一〇五施器

【第三〇二坑道中隊】

一曹 相原 良憲 十三施群
一曹 大籠 浩通 三〇三夕中

【第二直接支援中隊】

准尉 松田 努 直大整備中
二曹 片山 英樹 特大第二中
二曹 棧敷 栄司 直大整備中

【駐屯地業務隊】

二佐 佐藤 春巳 六 普 連
一尉 中岡 正明 十一飛行隊
一曹 福原 義徳 七師团司付
一曹 狩野 雅彦 三〇三夕中
二曹 伊藤 俊一 一戦車群
二曹 田原 正夫 静 内 業

事務官等 転出

厚生科 蒲澤 修一 真駒内業
厚生科 大矢 英子 留萌 業
総務科 千葉 裕靖 旭川地連
管理科 福永 聖子 丘 珠 業

転入

厚生科 近藤 誠一 幌 別 業
厚生科 脇坂 泰文 自札幌病院
総務科 米谷 亘司 旭川地連
管理科 山田 謙次 南恵庭業

こんにちは赤ちゃん



第三三五施設中隊
二曹 桐谷 嘉男
二男 将輝
三月六日生



第三三五施設中隊
三曹 花田 大樹
長男 傑
二月二十日生



第三三六施設中隊
三曹 井橋 淳哉
弥哉
三月五日生



第三一二施設器材中隊
三曹 岡村 辰二
優来
十月十七日生



第三一二施設器材中隊
三曹 松澤 正史
龍之介
十二月十八日生



第三一二施設器材中隊
三曹 片岡 大輔
陸
二月十日生

SNACK 北の国から
0126 - (25) - 6048
岩見沢市3条西1丁目宮川ビル2F
平井 富雄

お客さまの「いつも身近にいる会社」をモットーに。私たちはこれからも、安心をお届けまいります。
担当営業職員 明治安田生命 村山 利江
明治安田生命 岩見沢営業所
〒068-0024 岩見沢市4条西1
電話：0126-22-1637
FAX：0126-22-7340



第二直接支援中隊
二曹 村田 正隆
凛太郎
十二月二十七日生

第三〇二坑道中隊
三曹 竹谷 隼
一月二十四日生